



澤田秀夫
安来市議会
(日立金属労組安来支部)

「災害に強いまちづくり」 「災害に備えたまちづくり」 を念頭に意見提起



災害時に役立つ設備が
設置された市民広場

安来庁舎及び周辺工事の一環として整備してきた「防災研修棟」と「市民広場」が完成しました。

「防災研修棟」と「市民広場」は、市街地で大規模火災や地震が発生した時には、一時的な避難場所として活用出来るようになっています。

「防災研修棟」は、研修室が3部屋あり常時は市民の方が防災や減災を学ぶ研修施設として活用されますが、非常時には避難施設として機能を発揮する様々な設備が備えてあります。避難者にとって困るトイレも男女及び多目的のものがあ、さらに内部

用と外部用が備わっていますので大人数の利用も可能です。

「市民広場」は、芝生が植えてあり普段は公園として子どもから高齢者の憩いの場所として利用が出来ますが、非常時には「防災研修棟」と連動した防災拠点となるため「マンホールトイレ」や「かまどベンチ」、「防災パーゴラ（テントを取付ける簡易小屋）」など、避難場所としての機能を補完する設備が整っています。

自然災害はいつ起こるか分かりません。「災害に強いまちづくり」「災害に備えたまちづくり」を念頭において意見提起に務めていきたいと考えます。



日立グループ議員団幹事長 伊藤 健也
日立市議会（日立AP労組多賀支部）

幹事長の
主張！

参院選への対応について

第25回参議院議員選挙が公示され、選挙区・比例区それぞれに推薦した候補者への積極的な支援に感謝を申し上げます。

比例区選挙では、現職の「石上としお」候補の必勝を期し、電機連合をはじめ各地協と連携を図りながら当選に向けた活動の展開が進められてきました。

「石上としお」候補の個人得票は前回選挙より約4万票を上積みしたものの、国民民主党の獲得議席は3議席に留まり、獲得順

来る衆院選「常在戦場を念頭に」

が4番目となり当選に至りませんでした。

今後は国民民主党として、これまでの取組みを改めて総括し、次期衆議院選挙に向けた新たな取組みの展開が必要と考えます。

総会で退任議員に感謝状を授与

7月17日に、第28回議員団総会が開催されました。総会では、会則の一部変更として、「事務局は日立グループ連合組織政策局が担当する」ことが承認されました（旧会則では日立労組政治部が担当）。

また、昨年度に議員を勇退された5名の方々に対し、浅野 哲会長からそれぞれ感謝状と記念品が授与されました。勇退された方々からは、初当選から勇退するまでの

様々な想いと感謝について挨拶がありました。改めてこれまでのご労苦に感謝申し上げますとともに、新たな立場でのご活躍を祈念致します。

衆院選への対応について

浅野哲衆議院議員は、電機産業で働く者の代表として経済産業委員会や災害対策特別委員会等に所属しながら、3現主義（現場・現物・現実）を貫き、日本を支える電機産業の現状と将来に向けた課題の提起と対応を進めています。

来る衆院選には常在戦場を念頭に、小選挙区での勝利をめざすべく支援の拡大をお願いします。

当選御礼

2019年8月
秦野市議会
議員選挙

八尋 伸二

ご支援ありがとうございました



2019年10月

ひたちなか
市議会
議員選挙

ご支援
よろしく
お願いいたします



三瓶 武

日立労組水戸支部



深谷 寿一

ルネサスグループ連合
那珂地区支部



武藤 猛

日立ハイテク労組
那珂支部



北原 祐二

日立AMS労組
佐和支部

第25回参議院議員選挙御礼

電機連合組織内公認候補「石上としお」氏は残念ながら惜敗となりました。皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

日立グループ 議員団だより

ホームページアドレス <http://www.hitachi-gr-giindan.jp/>

今号の読みどころ

議員団レポート…（日立市議会、胎内市議会、かすみがうら市議会、安来市議会）

幹事長の主張…来る衆院選「常在戦場を念頭に」

浅野衆議院議員・国政レポート…日立グループの全員野球で乗り越えよう

P 2～4

P 4

日立グループの 全員野球で乗り越えよう

第25回参議院議員選挙を終えて

第25回参議院議員選挙では、日立グループの皆さんのご支援に心より感謝申し上げます。今回の選挙は電機産業に従事する私たちにとって大変厳しいものとなりました。国民民主党の比例代表枠は3枠にとどまり、民進党として戦った前回選挙時の11枠から大きく減少した結果、UAゼンセン・自動車総連・電力総連が擁立した3名の組織内候補は当選を果たしましたが、電機連合の石上としお候補は19万2,586票をいただいたにもかかわらず次点となりました。電機連合として初めての敗北を重く受け止め、議席を取り戻すため奮起しなければなりません。私たちは今回の選挙を、苦難を乗り越える挑戦の始まりの選挙と位置付けるべきだと思います。

組織内議員の存在意義をどう伝えていくか

今後、重要だと考えているのは、「なぜ電機連合が国会議員を擁立するのか」という極めてシンプルな問いへの答えを組合員の皆さんに広く理解・共感してもらうことだと思っています。私自身、組織内議員の存在意義が十分認知されているとは思っていません。組織内議員が一人ひとりと接する機会は限られており、組織内議員による成果を組合員の皆さんに直接お話できる機会はそれ程多くありません。一方、日立グループ議員団が所属している各議会では、電機産業やくらしに関わる規制の見直しや法案・条例審議が頻繁に行なわれています。そこでは、組合員の皆さんからいただいた声を伝え、行政



石上としお氏を応援

No.82 2019年9月発行
発行：日立グループ労働組合連合会
組織政策局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-9-6
編集：日立グループ議員団会議



日立グループ議員団会長
衆議院議員
浅野 さとし

から回答を引出したり、様々な制度改善に取り組む組織内議員の姿があります。組合員の皆さんに組織内議員の活動とその意義をより深く理解していただくことが、次の選挙での勝利にむけた第一歩になると考えています。

「全員野球」が次なる飛躍を生み出す

今後も多くの選挙が控えています。電機業界がめまぐるしく変化する中、皆さんのくらしと電機産業の未来をより豊かにするため、日立グループ議員団はそれぞれの選挙を勝ち抜かなければなりません。めざしたいのは1人が100票集めるより、100人が1票ずつ投じる選挙です。そのためにも、日立グループのすべての職場の皆さんとともに「全員野球」で取組みたいと思います。日立グループ連合本部や加盟組合役員の皆さん、評議員や職場活動家の皆さん、そして組織内議員、上部団体である電機連合や協力関係にある他産業労組や各種企業・組織の皆さんなど全員で力を合わせ、次なる飛躍を生み出しましょう。今後のご理解とご協力をお願い申し上げます。

市政だより

電子マネーでの支払いが市役所などで可能に



堀江 紀和
日立市議会
(日立パワー労組)

キャッシュレス化の推進と利便性向上に取り組む

市役所窓口などで導入される
電子マネー決済システム



国内では、電子マネーやクレジットカードなどで支払うキャッシュレス決済の比率が年々増加しています。

特に電子マネーによる支払いが増加傾向にある中、地方自治法では電子マネーによる公共料金の支払いに関する規制が明記されていないことから、国は茨城県からの提案を受け、電子マネーでの支払いを可能とする考えを示しました。

これにより、日立市では市役所や各支所での住民票など各種証明書の発行手数料、並びに動物園や科学館など公共施設の入場料をSuica(スイカ)やnanaco(ナナコ)など14種類の電子マネーで支払いができる「電子マネー決済システム」を本年7月1日より

導入しました。

自治体で複数の電子マネーが利用できることや、市役所や公共施設などに一斉に導入することは全国初となります。

この取組みにより、手数料や入場料などの支払いにかかる時間や現金を扱う煩わしさを減らし、また、支払い手段の選択肢を増やすことで市民の利便性向上が図れます。

民主クラブとしては、電子マネー保有率の低い高齢層への普及と、今後の利用状況を踏まえた上で、他の公共料金や公共施設への利用拡大を図り、行政のキャッシュレス化のさらなる推進と市民の利便性向上に取り組んでまいります。

新潟・山形地震の教訓を活かし、減災・防災対策に取り組む

市政だより

避難所の開設基準見直しと市民への情報発信について提言



渡辺 宏行
胎内市議会
(産機労組中条支部)

6月18日に発生した、新潟・山形地震で新潟県沿岸に津波注意報が発令され、1メートルの津波が到達すると予想されました。この津波注意報に沿岸部に面した自治体では対応が分かれ、住民への情報発信や避難所の開設に課題を残す結果となりました。

胎内市も、15キロの海岸線に5集落、610世帯1,661人が暮らしており、津波の恐ろしさは、東日本大震災で思い知らされていることから注意報が出されたと同時に海岸近くに住む住民は、自主的に避難所に向かいましたが、避難所が開いておらず、困惑した

市民もおりました。胎内市の避難所開設基準は、津波警報以上の発令や震度5弱以上の地震の発生、または風水害の状況に応じて開設するとしており、今回の地震は、「震度4」、「津波注意報」であり開設されませんでした。

市では、津波の「警報」と「注意報」の違いが市民に周知されていないこともあり、今回の反省を踏まえ避難所の開設基準を見直すとしておりますが、市民への情報発信についても再度検討するよう提言していきたいと思います。

市政だより

日立市へのパンダ誘致を推進



白石 敦
日立市議会
(HiICS労組)

飼育環境の整備、機運醸成などの課題解決に向け提案



パンダの招致を進めるかみね動物園

茨城県は、活力と魅力あふれる県北地域づくりに向けた「県北振興チャレンジプラン」の一つとして、本年2月、日立市かみね動物園へのパンダ誘致を推進すると発表しました。パンダ誘致は、県北振興の起爆剤になることを期待する県と市の意向が一致しているものの、地域振興だけではなく、日中友好に貢献することが前提となります。その実現にあたっては、パンダの繁殖研究体制などの飼育環境を整備するとともに、中国や外務省など国内外の関係部署との交渉が必要となることから、本年6月、「いばらきパンダ誘致推進協議会」を設立しました。

本協議会は、会長に県知事、副会長に日立市長が就任し、県と

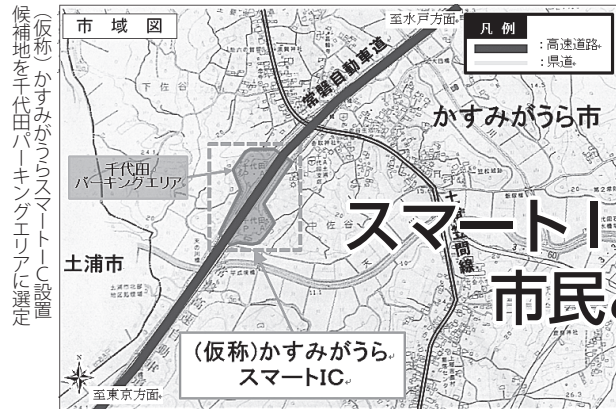
市の担当部署に加え、それぞれの議会や日中友好協会の代表者などの関係機関や団体で構成しています。また、アドバイザーとして、上野動物園（東京都）で生まれたパンダ「シャンシャン」の貸与期間の延長交渉に携わった中国の行政機関OBの方に委嘱しています。

今後は、中国への要望活動や、現地視察を実施するほか、外務省へ働き掛け、新たな交渉ルートの開拓を進めます。

民主クラブとしては、パンダ誘致を実現するため、園内の飼育環境の整備や地元の機運醸成などの課題解決に向けた提案に取り組んでまいります。

安全で快適に暮らせるまちづくり推進

市政だより



(仮) かすみがうらスマートIC設置のメリットを市民と享受し早期実現へ



川村 成二
かすみがうら市議会
(日立建機労組土浦支部)

かすみがうら市では、市内の企業活動の活性化や物流の効率化をはじめ、国道6号線の渋滞緩和、市民生活の利便性向上と市内果樹園などへのアクセス向上などを図るため、常磐自動車道と接続するスマートインターチェンジ(IC)の整備に向け平成29年度から国、県等の機関と協議・検討を進めています。

平成30年度の設置可能性等調査の結果、(仮)かすみがうらスマートICの設置候補地を千代田パーキングエリアに選定しました。こうした経過を踏まえ、令和元年度当初予算にスマートIC設置検討業務委託費を計上し、6月定例会ではスマートIC関連

土地利用基本構想策定予算の補正を計上し可決されました。

茨城県内のスマートICは現在、常磐道の友部SA・水戸北・東海・石岡小美玉の4カ所に設置され、ほかの自治体でも事業化が進められており、スマートIC熱は高まっています。

スマートIC設置による周辺道路整備、利便性向上は企業誘致や地域活性化につながることは明らかなです。大きな効果が期待される(仮)かすみがうらスマートICの早期実現に向け、地域をあげて取り組んでいきます。